



「安全・安心な学校」2 ～総合防災訓練～

9月29日に、「あきた病院総合防災訓練」に参加させていただきました。

本コーナーの#7にも載せていますが、本分教室は病院内に設置されている学校（分教室）であり、防災に係る連携が必要です。6月に実施した、防災施設設備や避難訓練の見学等続く研修です。

あきた病院は、有事における地域医療の拠点としての役割もあります。今回の総合防災訓練では、地震、火災、土砂災害を想定し、消防活動や入院者の避難誘導活動に加え、地域住民（傷病者）の避難受け入れ活動も行われました。

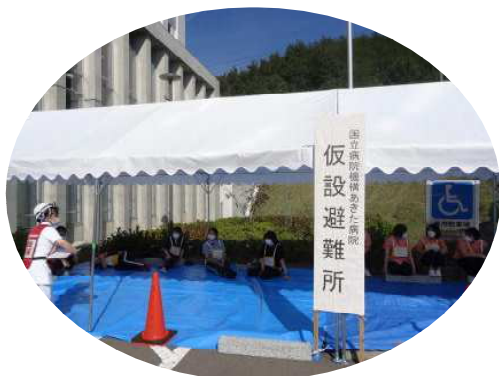
分教室職員は、全体的な動きの見学の他、傷病の模擬患者の役割も担い参加させていただきました。

あきた病院は大きな病院であり、災害等に係る大がかりな対策活動が必要ですが、各部署の緻密な役割分担の基、連携した活動が行われており大変勉強になりました。

防災訓練終了後の総括で、院長先生から「いかなる時でも『心のこもった、癒やしの医療』を」とまとめの言葉がありました。

有事においては、人々の心に動揺があります。児童生徒が安全・安心な気持ちを抱くことができる関わりも防災に係る大切な視点だと思いました。

引き続き、病院との連携の基、安全・安心な学校を目指していきたいと考えています。



【防災訓練の様子（傷病者の受け入れ）】